



プランターと花壇に花を植えました

5月24日(月)、ボランティア同好会と保健委員会合同でプランターと花壇に花の苗を植えました。少し肌寒い日でしたが、生徒たちは手際よく移植作業を行い、生徒玄関や掲揚塔の周りにプランターを設置。水やりを済ませ、全員で写真撮影をし、作業を終えました。この花は秋まで楽しむことができます。花の世話はボランティア同好会で行い、次はひまわりの種プロジェクトに向け活動していきます。

追分高校です

110

高体連・高文連壮行会

高体連・高文連の大会に出席する部局の壮行会が行われ、各部局の代表から大会に向けての意気込みを聞きました。壮行会後、養護教諭の金谷先生から新型コロナウイルス感染症予防の徹底について「変異株が流行しています、マスク、黙食、検温を継続すること」が予防の基本です」と説明がありました。

ボランティア活動

例年、町内の福祉施設での活動や小・中学校の運動

会を手伝う等、地域の方と交流する機会となっていた活動を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で昨年度から控えています。今年も校外の清掃活動を予定していましたが校内での活動に変更しました。この日は3年生全員で校内の高所や通風口などを中心に清掃活動を実施。使用した用具は作業前に各自教室で作ったものです。生徒は「先輩たちが大切に使用してきた校舎だから感謝を込めてきれいに掃除して後輩たちに引き継ぎたい」と話していました。

絵手紙制作

生活福祉援助技術を選択する3年生が「絵手紙」に挑戦しました。指導をしてくださったのは、日本絵手紙協会公認講師の星克子先生です。まずは基本の筆運び、墨につけ



線を引く練習から始めます。筆の持ち方、動かす早さが書道とは違い、生徒たちは真剣な表情で筆をゆつくり動かしていました。星先生から、上手な線は「命の毛」と呼ぶ筋が現れると教わりました。最後にはがきに絵を描き、色づけを行います。絵手紙は、実物を見て描くことが基本だそうで、用意されたミニトマトやピーマンを見て一人2作品を描きました。できあがった絵手紙に一言添えて完成。生徒たちは「おいしそう」「案外うまくできた」などと感想を述べ、作品を鑑賞しました。

7月の行事予定

- 15日(木) 16日(金) 学校祭
- 20日(火) 地域清掃ボランティア(2年、進路出陣式(3年))
- 21日(水) スマホ・ケータイ安全教室
- 26日(月) 全校集会
- 27日(火) 夏期休業(～8月17日)

▶皆さんのご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)

〒059-1911

安平町追分本町7丁目8番地

ホームページで「追高の今」をご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校